

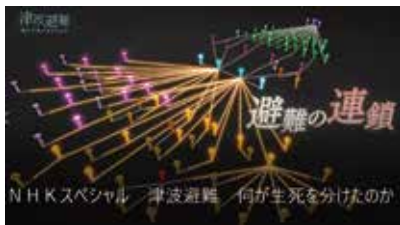
## NHKスペシャル 津波避難 何が生死を分けたのか

放送日：2021年3月6日 放送時間：59分



対象校種 中学校 高校  
対象教科 学級活動

### この番組の良さ



#### ● 4千人の避難行動の記録と分析

2011年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災。それは国内観測史上最大、マグニチュード9.0の揺れでした。その揺れを潜り抜けた人々に、今度は高さ10メートルの巨大津波が襲いました。高台に逃れ避難する人がいる一方で、多くの人が逃げ遅れました。死者行方不明者は1万8千人を超えています。

専門家たちは避難の在り方を見直す必要性があると考え、大規模な調査と分析を行いました。その中で、命を守るためのカギを考察しています。番組を通して、1人1人の行動が周囲に与える影響の大きさが明らかになります。防災教育として、災害時の行動について自分事として受け止め、考察することのできる内容です。

### 番組活用のポイント

#### ● 生死を分ける避難行動について考える

津波から逃げ遅れた人の避難行動を分析すると、家や家族の様子が心配で外出先から戻るなどしていました。一方で、強い危機感がないにも関わらず高台へ避難した人たちもいました。集団避難のきっかけになった小学校では、普段から「災害に絶対の安全はない」という考え方で訓練を行っていました。実際にあった避難行動の映像を見ることで、生死を分ける避難行動の要因について考察を深めることができます。

#### ● 避難の連鎖に見える、1人1人の行動の重さ

番組では周囲の人に危機を呼びかけた率先避難者や、避難の声かけで助かった人の話が収録されています。調査では避難行動を始めた人のうちの8割以上が周囲からの影響で避難したことが明らかになっています。また、率先避難が連鎖することでさらに大きな避難行動につながる様子が分析されています。防災について考える中で、1人1人の行動が周囲に大きな影響を与えることを学び、防災について各自のとるべき行動について話し合うことができます。

私がこうして生きていられたのは  
「逃げよう」と言ってくれた人がいたから

#### ● 児童生徒の心理面への配慮が必要

番組では地震や津波に関する衝撃的な映像が含まれています。映像を見ることで大きなショックを受ける児童生徒がいる可能性があります。防災教育として災害の恐ろしさを伝えると共に、児童生徒の心理面への配慮が必要です。授業で活用する前に、必ず内容を確認し、必要であれば津波の映像部分を除くなどして視聴するようにしましょう。



執筆者  
向日市立寺戸中学校  
教諭 鈴木英太